

令和3年度

一般曹候補生

試験問題

国語①

〔国語〕

【No. 1】 次の文章の内容と合致するものとして、最も妥当なものはどれか。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

(田島正樹『哲学史のよみ方』より)

- (1) われわれは多くの現象を、ものとその性質という論理形式に従って記述しているが、この形式に合わない現象もある。
- (2) もとその性質という論理形式を用いても、同じものの場所の移動とか、同じ人物の再認について語ることもできないことになる。
- (3) 我々が会おう多くの現象は、映画のコマおくりのように、一瞬一瞬の有り様を稠密な絵のように描くようなやり方で記述すべきである。
- (4) ものが人間とか机と並んで存在するようなものではなく、性質も赤いとか軽いと並んで存在する性質でないことが、この論理形式の理解を難しくしている。
- (5) ものと性質が論理形式であるということは、類比的に理解されるべき記述の形式であるということである。

【No. 2】 次の文章の内容と合致するものとして、最も妥当なものはどれか。

行幸ぎょうこう近くなりぬとて、*殿のうちを、いよいよつくりみがかせたまふ。よにおもしろき菊の根を、たづねつつ掘りてまゐる。色々うつろひたるも、黄なるが見どころあるも、さまざまに植ゑたてたるも、朝霧の絶え間に見わたしたるは、げにも老も*しぞきぬべきこちするに、*なぞや、まして、思ふことの少しも*なのめなる身ならましかば、すきずきしくももてなし若やぎて、常なき世をもすぐしてまし、めでたきこと、おもしろきことを、見聞くにつけても、ただ思ひかけたりし心の、ひくかたのみ強くて、ものうく、思はずに、なげかしきことのまさるぞ、いと苦しき。

*殿：土御門邸 *しぞく：退く *なぞや：どういふものか *なのめなる：平凡だ
(紫式部 『紫式部日記』より)

- (1) 大変珍しい菊の根の株は、最近では高値で取引されている。
- (2) 様々に色変わりした菊など見ても、誰も感心しない。
- (3) 普通の人間であっても、菊の花を見て若やいだ気持ちになることはない。
- (4) すばらしいことを見聞しても、気がかりがあるので気持ちが塞いでしまう。
- (5) 最近の家臣は遊んでばかりいて大変嘆かわしい。

【No. 3】 意味が反対である熟語の組合せとして、正しいものはどれか。

- (1) 罷免 —— 任命
- (2) 繁忙 —— 失業
- (3) 遺憾 —— 残念
- (4) 干渉 —— 撤収
- (5) 打倒 —— 治療

【No. 4】 次の意味を持つ熟語として、正しいものはどれか。

物が豊富にあること

- (1) 飽満
- (2) 満足
- (3) 重宝
- (4) 潤沢
- (5) 充実

【No. 5】 次の文の下線部と同じ意味の用法として、正しいものはどれか。

今年の夏は猛暑になるようだ。

- (1) まるで雪のように真っ白な肌だ。
- (2) 彼のように努力を惜しまなければ成功します。
- (3) 弁護士のような資格をとりたい。
- (4) 先生の厳しい言葉に、頬をなぐられたような気持ちになった。
- (5) どうやら犯人は、複数のようだ。

【No. 6】 次の文の下線部が尊敬語であるものとして、正しいものはどれか。

- (1) 私は終日家におります。
- (2) その件は弊社にお任せください。
- (3) ご自由にお書きあそばせ。
- (4) その件は私がいたします。
- (5) 私がまいります。

【No. 7】 次の文の下線部と同じ品詞のものとして、正しいものはどれか。

彼は沈黙を破って、突然、話し始めた。

- (1) 今年の冬は、穏やかな気候が続く。
- (2) 公民館から駅までは、かなり遠い。
- (3) 先生がいなくなると、教室はとても騒がしくなった。
- (4) 彼女は、赤い服がよく似合う。
- (5) 公園にはゴミを捨てないでください。

【No. 8】 下線部にあたる漢字として、正しいものはどれか。

- (1) 物語がいよいよカキヨウに入ってきた。 : 華境
- (2) タイマンのそしりを免れない。 : 怠満
- (3) 作文をテンサクする。 : 添削
- (4) 海外の小説のホンヤクをしている。 : 本訳
- (5) 彼の話聞いてショウゲキを受けた。 : 奨撃

【No. 9】 次の文の下線部に用いられている漢字と同じ漢字を用いるものとして、正しいものはどれか。

とてもシ激的な味だ。

- (1) 鈴木先生にシ淑する。
- (2) 風シ画を描く。
- (3) 彼のことをシ牙にもかけない。
- (4) 本筋からはずれたシ葉な部分にこだわる
- (5) シ勢を正しなさい。

【No. 10】 文中の漢字がすべて正しいものはどれか。

- (1) 加工食品に異物が混入していたため、生産過程をすべて点検した。
- (2) 道路が陥没しているという住民からの苦情に敵切に対処した。
- (3) 両国は近密な関係を保っていたが、近年は貿易摩擦が生じている。
- (4) 紆余曲折あったが、ようやく仕事が機道に乗り始めた。
- (5) 温室効果ガスを減らす努力を途勞に終わらせてはならない。

【No. 11】 文中の下線部の熟語の読み方として、正しいものはどれか。

- (1) 膨大な資料を読み込んで会議に出席した。 : ぼうだい
- (2) 4番バッターによる会心の一打。 : えしん
- (3) 彼の言い方は侮蔑的だ。 : ぶじょく
- (4) これで懸念材料はなくなった。 : けんねん
- (5) 自分を嫌悪するのはやめたまえ。 : けんあく

【No. 12】 次の(ア)～(オ)の漢字の読み方として、正しいものだけを挙げているのはどれか。

- (ア) 雪崩 : せっほう
(イ) 草履 : たび
(ウ) 煩雑 : はんざつ
(エ) 相撲 : そうぼく
(オ) 雲泥 : うんでい

- (1) (ア)(イ)
- (2) (ア)(オ)
- (3) (イ)(エ)
- (4) (ウ)(エ)
- (5) (ウ)(オ)

【No. 13】 次の説明文に該当する作家として、正しいものはどれか。

父の死後、生活を支えるために作家になることを決意し、明治 27 年に苦しい生活の中で「大つごもり」を發表、続いて「たけくらべ」「にぎりえ」「十三夜」と、古い封建的社會を生きる女性の悲哀を、細かな心理描写と巧みな筋立てで書きつづった。

- (1) 島崎藤村
- (2) 福沢諭吉
- (3) 樋口一葉
- (4) 夏目漱石
- (5) 幸田文

【No. 14】 ことわざとその意味の組合せとして、正しいものはどれか。

- (1) 猿も木から落ちる ————— 結果ばかり焦って求めると、うまくいかないことのたとえ。
- (2) 火のないところに煙は立たぬ — 噂には、なんらかの根拠があるということ。
- (3) 捕らぬ^{たぬき}狸の皮算用 ————— 理論上ではできても、実際にはできないこと。
- (4) 雀百まで踊り忘れず ————— 覚えたことも、百を数えると忘れてしまうように、物事の覚えが悪いこと。
- (5) 帯に短し^{たすき}襷に長し ————— つまらないものでも、無いよりはましであるということ。

【No. 15】 次の四字熟語の意味として、正しいものはどれか。

疑心暗鬼

- (1) 疑う心は、暗いところでみる鬼よりも怖いということ。
- (2) 心にやましいことがなく、無実の罪が晴れること。
- (3) 弱い心は、強いものの餌食となり、征服されてしまうことのたとえ。
- (4) 疑う気持ちがあると、なんでもないことでも恐ろしくなること。
- (5) 内心は気が弱いのに、外面は強く見せようとする事。